

民間ユネスコ活動発祥の地・仙台

教育・科学・文化における国際協力を推進し、世界の平和と安全に貢献することを目的として設立された国際連合の専門機関・ユネスコ。その名前は皆さまもどこかでお聞きになったことがあると思います。

そもそもは第二次世界大戦中、ヨーロッパ各国からイギリスに亡命中の各国文部大臣がロンドンに集まり、大戦によって荒廃した教育の復興について協議したことが、後の創設につながる動きとなったと言われています。日本がユネスコに加盟したのは昭和26年のことですが、すでにその4年前、昭和22年7月19日には仙台ユネスコ協力会が発足。世界で初めての民間ユネスコ団体でありました。

当時の活動の中心は、外務省に勤務し終戦事務に当たっていた上田康一さんに加え、土居光知さん、桑原武夫さんといった東北大学教授の方々でした。戦後日本の復興がまだ緒に就いたばかりのその時期に、早くも平和国家の建設、国際社会への復帰を視野に、民間からのユネスコ運動を立ち上げていく必要性を認識し、広く訴え実現にこぎつけたことは、まさに時代を先取りした慧眼と言うべきでしょう。

現在では、ユネスコという世界遺産がすっかり有名になりましたが、「心の中に平和の砦を」とのユネスコ憲章の精神に基づき、未来を担う子どもたちの健全育成や国際交流のための英語学習などにも力を入れてこられました。青年部の活動も活発で、震災時に宮城・岩手の沿岸部の子どもたち約50人を招いてキャンプを開いたことがきっかけで、8月に第3回宮城ユネスコ子どもキャンプの開催が予定されているほか、留学生を招いての日本文化体験活動にも取り組んでいます。

今月19日には、仙台に世界初の民間ユネスコ団体がスタートしてから70年となります。この節目の年を記念して7月15日・16日に、仙台国際センターを会場に「日本ユネスコ運動全国大会in仙台」が開かれます。地球環境問題に関する特別講演のほか、ユネスコ無形文化遺産に認定された秋保の田植踊も披露されますので、ぜひ多くの市民の皆さまにもご来場いただき、民間ユネスコ活動の70年を祝っていただきたいと思います。

仙台市長 奥山 恵美子

平成2年に台原森林公園内に開設したスリーエム仙台市科学館は、5月27日に入館者500万人を達成しました。記念式では、500



▲家族と来館した鈴木雪乃さん (左から3番目)

市政トピックス

科学館が入館者500万人を達成

万人目となった鈴木雪乃さんに館長から記念品が手渡されました。多くの方々にも親しまれてきた科学館。今後も、皆さんに愛される施設を目指していきます。

市政トピックス

仙台市公式訪問団がダラス市を訪問

5月18日から22日、仙台市公式訪問団がアメリカ合衆国テキサス州ダラス市を訪問しました。ダラス市と本市は、平成9年8月の国際友好都市提携から20周年を迎えます。藤本章副市長ら6人の訪問団は、ダラス・フォートワース日米協会の総会に参加し、多くの出席者とともに20周年を祝いました。また、東日本大震災の際



▲訪問に合わせ日系スーパーマーケット内に設置された、仙台のPRコーナーの視察も行いました

にいただいた支援への感謝をあらためて伝え、両市の市民交流を促進するため、本市の近況報告を兼ねた観光プレゼンテーションを実施。ダラス市役所訪問の際には、ローリングス市長と両市の交流発展について懇談を行いました。

市政トピックス

家庭ごみの排出量が減少しました

市では、ごみ排出量削減のため昨年6月から、各家庭でのごみ分別を呼び掛ける「WAKE UP!! 仙台」キャンペーンを進めています。平成28年度の家庭ごみ排出量は一人1日当たり467グラム。平成27年度に比べ9グラム減少し、平成32年度目標の450グラムに徐々に近づいています。家庭ごみの約半分は、雑がみやプラスチック製の容器包装などリサイクルが可能なもの。引き続き分別を意識し、家庭ごみの減量への取り組みをお願いします。

市政トピックス

伊達政宗公生誕450年祭 「仙台・青葉まつり」開催



5月20日・21日の2日間、33回目となる「仙台・青葉まつり」が伊達政宗公生誕450年祭として開催され、延べ約97万人の人々が初夏の祭りを満喫しました。初日の「宵まつり」では、市内各所ですずめ踊りの競演が繰り広げられ、過去最多となる147祭連、約4500人の踊り手が息の合った演舞を披露。また、せんだいメディアテークで行われたトークセッションでは、奥山市長と宇



▲トークセッションでは、さまざまな観点から政宗公に関するエピソードを披露

和島伊達家13代当主・伊達宗信氏、政宗公ゆかりの都市（宇和島市・白老町・米沢市・大崎市）の首長が、政宗公の生涯や人物像などについて振り返り、集まった多くの人々が熱心に耳を傾けました。2日目の「本まつり」の見どころは「時代絵巻巡行」。豪華絢爛な11基の山鉾が先陣を切り、続いた武者行列には、伊達家18代当主・伊達泰宗氏と宇和島の伊達宗信氏が参列。青葉神社の神輿渡御、すずめ踊りの大流しが続くと、その迫力に沿道から大きな拍手と歓声が上がりました。巡行の最後には、政宗公生誕450年を祝う式典「祝いの儀」が開催され、時代

市政トピックス

絵巻参加者全員と観客が「伊達の一本締め」で高らかに節目の年を祝いました。また、勾当台公園では、旧仙台藩の市町村などの食べ物や物産を集めた「杜の市」や、藩政時代の祭りを再現した「伊達縁」などが両日開催され、大変な賑わいを見せていました。

市政トピックス

市営バスが75周年、地下鉄が30周年を迎えます

市営バスは昭和17年8月21日、地下鉄南北線は昭和62年7月15日に開業。以来、地域に密着した「市民の足」として親しまれてきました。今年、市営バスが開業から75周年、地下鉄が30周年を迎えます。これを記念するとともに、



▲クレーンで搬入される地下鉄南北線の車両 (昭和62年撮影)



市営バス・地下鉄記念ロゴ



▲後ろに引いて手を離すと、かわいらしく進む「イクスカとことこズメ」

「イクスカとことこズメ」「トミカ仙台市営バス」を販売します ●販売開始日時 8月19日(土)午前9時 ●販売場所 定期券発売所(仙台駅・泉中央駅・長町南駅・八木山動物公園駅・荒井駅の地下鉄各駅) ●価格 各900円 ●購入は一人各3個まで ●いずれも売り切れ次第終了 問交 通局案内センター ☎222・2256

これまでご利用いただいたお客さまへの感謝と、市営バス・地下鉄のさらなる魅力を発信するため、「バス・ちか祭り」などさまざまなイベントを開催します(詳しくは14ページ)。また、記念オリジナルグッズとして「イクスカとことこズメ」(1000個限定)、「トミカ「仙台市営バス」(6千個限定)も登場。交通局では今後も、安全で快適な運行とサービスの向上を図ってまいります。